

“芸術の秋”は東京・上野へ行こう！オペラの魅力を世界に発信する

「Tokyo Opera Days」を初開催

名作『ドン・カルロ』の公演、マリア・カラス展、宮本亜門による講演会など、
オペラにまつわるさまざまな企画が目白押し

2023年10月9日(月・祝)～15日(日) 東京文化会館にて開催

公益財団法人東京二期会は、文化庁が統括する文化資源コンテンツ創成事業「日本博2.0」へ参画することが決定いたしました。2023年度から3年間、各年秋にて東京文化会館でオペラ公演を中心に、オペラに関連するさまざまなイベントを実施してまいります。本年は、2023年10月9日(月・祝)から15日(日)の7日間、東京文化会館にて「Tokyo Opera Days」を初開催。「Tokyo Opera Days」では「秋は上野でオペラ！」を合言葉に、東京・上野からオペラの魅力を発信するため、さまざまな企画をご用意しています。



初開催！「Tokyo Opera Days」の魅力とは？

今回、初の開催となる「Tokyo Opera Days」のメインは、シュトゥットガルト州立歌劇場との提携によるヴェルディの名作オペラ『ドン・カルロ』公演です。現在、欧州でもっとも注目を集めている指揮者レオナルド・シーニと、若くしてウィーン・フォルクスオーパーの芸術監督を務める演出家ロッセ・デ・ベアの初タッグが日本で実現します。世界最先端、最高峰のプロダクションを東京から発信いたします。シーニとデ・ベアによるマスタークラス開講や、プレトークの実施、バックステージツアーも予定しています。

また、伝説的オペラ歌手マリア・カラスの生誕100周年を記念して、往年の舞台写真やポスター、プライベートで愛用していた衣服、ジュエリーなどの展示や、彼女の未完の自叙伝、手紙、秘蔵映像、音源をもとに制作され、大きな話題を呼んだドキュメンタリー映画「私は、マリア・カラス」(2017年フランス)の上映を予定しています。その他、日本ゆかりの名作オペラとして『蝶々夫人』をとりあげ、日本を代表する演出家・宮本亜門が2019年に手掛けた公演を特別上映するほか、宮本亜門の講演会も開催。さらに屋外の特設ステージでは、オペラ・ステージ時空間絵巻®『蝶々夫人』公演、国立能楽堂とのコラボレーションイベントなども予定しています。

「秋は上野でオペラ！」を合言葉に、日本はもちろん、海外からのお客様にも楽しんでいただけるコンテンツが目白押しです。10月は東京・上野へ足を運んで“芸術の秋”をご堪能ください。



ロッセ・デ・ベア演出、シュトゥットガルト州立歌劇場公演オペラ『ドン・カルロ』より。
©Matthias Baus

2019年東京二期会オペラ劇場、宮本亜門演出『蝶々夫人』より。 Photo:三枝近志

オペラ王ヴェルディの傑作グランドオペラ『ドン・カルロ』公演～指揮・演出による教育プログラムも実施

シュトゥットガルト州立歌劇場との提携公演『ドン・カルロ』新制作。「オペラ王」とも称される、イタリアオペラの大作曲家ジュゼッペ・ヴェルディを代表するグランドオペラで、16世紀絶対王制時代のスペイン王朝を舞台に繰り広げられる、全5幕8場に及ぶ壮大なドラマです。

指揮は、世界の主要歌劇場で絶賛が続くレオナルド・シーニです。2021年公演の東京二期会『ファルスタッフ』に続いて、待望の日本再登場を果たします。演出は、オペラ新時代を築くと呼び声の高い、ウィーン・フォルクスオーパー芸術監督のロッテ・デ・ベアが日本初登場！ 現代においても男性が多く活躍するオペラ演出界の中で、世界の第一線で活躍し評価されている女性演出家のひとりが、ヴェルディの名作に新鮮な息吹をもたらします。当公演は、9月30日(土)に神奈川(よこすか芸術劇場)、10月7日(土)、8日(日)に北海道(札幌文化芸術劇場 hitaru)を巡回し、ツアーのラストをこのTokyo Opera Daysで飾ります。

Tokyo Opera Daysでは、『ドン・カルロ』の魅力をもっと深く味わっていただこうと、ロッテ・デ・ベアのプレトーク(13日)、バックステージツアー(14、15日※15日は英語通訳付き)を実施します。また、プロフェッショナルを目指す日本の若いアーティストのための教育プログラムとして、指揮者シーニと演出家デ・ベアによるマスタークラスも開講。シーニのマスタークラスは一般の方も聴講可能で、デ・ベアのクラスも後日無料配信を予定しています。



ロッテ・デ・ベア演出 シュトゥットガルト州立歌劇場公演より
Photo: Matthias Baus



レオナルド・シーニ
Photo: Laila Pozzo



ロッテ・デ・ベア
Photo: Philipp Ottendörfer

不世出の歌姫、マリア・カラス生誕100周年を記念して、特別展の開催と映画上映



協力: ACCADEMIA LIRICO INTERPRETATIVA MARIA CALLAS
イタリア・ヴェローナ州 ゼーヴィオ市で開催された「Maria Callas- Forever Divina」展覧会の様子

オペラ史上最高のソプラノ、マリア・カラス生誕100周年を記念して、Tokyo Opera Daysでは、特別展と映画上映を開催します(いずれも無料)。

特別展では、堂島リバーフォーラムの企画・協力により、大阪「-L'AMORE- Maria Callas 生誕100年記念展」(堂島リバーフォーラム)、東京「MARIA CALLAS-ディーヴァが愛した真珠-」(ミキモトホール)で開催される展覧会の一環として、Tokyo Opera Days期間中、その一部が東京文化会館大ホールホワイエで展示されることになりました。貴重な舞台写真、当時のポスター、レコード、プライベートで愛用していた衣服やジュエリーなどがご覧いただけます(一般観覧: 9~12日/『ドン・カルロ』公演ご入場者のみ: 13~15日)。

さらに、今回は特別に、大ホールのステージにスクリーンを設置し、マリア・カラスの生涯を肉声と貴重な映像でつづったドキュメンタリー映画の名作「私は、マリア・カラス」(2017年フランス)を無料上映します(9日)。人生そのものがオペラのようにドラマティックだった不世出の歌姫の素顔を、展示と映画を通して垣間見る機会となるでしょう。



(c) 2017 - Elephant Doc
- Petit Dragon
Unbeldi Productions
- France 3 Cinema

日本ゆかりのオペラ『蝶々夫人』と、日本を代表する演出家宮本亜門の講演会

日本にゆかりのあるオペラといえば、長崎を舞台にしたプッチーニのオペラ『蝶々夫人』。Tokyo Opera Daysでは、東京二期会オペラ劇場の過去の公演から、宮本亜門が演出し、世界的デザイナーの故・高田賢三が衣裳を手掛け、その後ザクセン州立歌劇場、サンフランシスコ歌劇場で上演されることとなった、2019年東京でのワールドプレミア公演の映像（収録：NHK）を特別に映画上映いたします（9日/10～12日は大ホールホワイエのモニターで連続放映）。また、宮本亜門の講演会「オペラを演出して～宮本亜門が語るオペラの魅力」を開催（10日）。ジャンルを越えて活躍する宮本氏だからこそ語ることのできる、オペラならではの魅力をお伝えします。

キャノピーの特設ステージでは、オペラエンターテインメント時空間絵巻®による『蝶々夫人』公演を予定（11、12日）。新感覚のオペラの楽しみ方を発見いただく機会となるでしょう。また、同特設ステージでは、国立能楽堂の特別ステージも企画しています（12日）。屋外ステージのイベントはいずれも無料です。お気軽にお立ち寄りいただき、オペラの魅力に触れられる機会をご提供いたします。



演出家・宮本亜門

「Tokyo Opera Days」コンテンツ一覧(1/2)

会場	イベント	開催日時	料金・申込
大ホールホワイエ	-L'AMORE- マリア・カラス 生誕100年 記念展 @Tokyo Opera Days 企画・協力：堂島リバーフォーラム 協力：ACCADEMIA LIRICO INTERPRETATIVA MARIA CALLAS	9(月・祝)17:00-21:00 10(火)-12(木)11:00-18:00 13(金)16:00-公演休憩迄 14(土)12:00-終演30分後迄 15(日)12:00-公演休憩迄	無料、予約不要 *但し、9(月・祝)-12(木)一般入場 13(金)-15(日)オペラ『ドン・カルロ』 ご来場者のみ入場可(追加料金不要)
大ホールホワイエ	オペラ『蝶々夫人』公演映像上映 ※環境上、音量は大きくありません。迫力ある音楽をお楽しみになりたい方は、9日大ホールでの映画上映にお越しください。	10(火)-11(水)11:00-18:00 12(木)12:00-18:00	無料・予約不要
大ホールホワイエ	日本で学ぶ着付けと所作 ～能装束と能の所作体験 能面・装束を着用の上写真撮影もできます 講師：武田伊左（能楽師・シテ方 宝生流）	10(火)14:00開始 30分前より受付 *限定20名様（先着順） 予定	5,000円 予約申込： 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831
大ホール	①映画『私は、マリア・カラス』上映 ②オペラ『蝶々夫人』公演映像上映	9(月・祝) ①16:00上映開始 ②18:30上映開始 各30分前より受付 *入れ替えなし	無料、予約可(当日優先入場) 予約申込： 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831
大ホール	演出家ロッテ・デ・ベアによる 『ドン・カルロ』プレ・トーク	13(金)17:15-開演迄	13(金)オペラ『ドン・カルロ』 ご来場者のみ入場可(追加料金不要) 予約申込(『ドン・カルロ』公演)： 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831
大ホール	『ドン・カルロ』の 舞台セットで歌ってみよう	14(土)10:00-11:00 15分前より受付 *1名様（1組様）10分限定 5名様（5組様）まで	5,000円 申込： 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831 (9月20日まで応募受付予定。応募多数の場合は抽選となり、9月末日に抽選結果をお知らせします)
大ホール	『ドン・カルロ』バックステージツアー	14(土)18:30開始(終演後) 15(日)10:15開始 各15分前より受付 *15(日)は英語通訳付き *各日限定20名様（先着順）	オペラ『ドン・カルロ』ご来場者 のみ入場可(追加料金不要) 予約申込(『ドン・カルロ』公演)： 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831

「Tokyo Opera Days」コンテンツ一覧(2/2)

会場	イベント	開催日時	料金・申込
小ホール	指揮レオナルド・シーニによる マスタークラス	9(月・祝)19:00開始 30分前より受付	聴講無料、予約可(当日優先入場) 予約申込: 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831
小ホール	演出家・宮本亞門講演会「オペラを演出して ～宮本亞門が語るオペラの魅力」	10(火)11:00開始 30分前より受付	全席自由1,000円 予約申込: 二期会チケットセンター TEL. 03-3796-1831
小ホール	上野 de クラシック Vol.86 川越未晴 (ソプラノ) 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館	12(木)11:00開演 30分前より受付	全席指定：1,100円 予約申込： 東京文化会館チケットサービス TEL. 03-5685-0650
オンライン・ イベント	演出ロッテ・デ・ベアによるマスタークラス	当日非公開、後日配信	無料
キャノピー 特設ステージ	まちなかコンサート ～芸術の秋、音楽さんぽ～ 上田純子 (ソプラノ) 花房英里子 (メゾソプラノ) 前川健生 (テノール) 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館	9日(月・祝) 10:30開演 11:30開演	無料、予約不要
キャノピー 特設ステージ	オペラエンターテインメント時空間絵巻® 『蝶々夫人』	11(水)、12(木)各17:00開演	無料、予約不要
キャノピー 特設ステージ	東京二期会×国立能楽堂コラボイベント 講師：武田伊左 (能楽師・シテ方 宝生流)	12(木)13:00開演	無料、予約不要

- *東京文化会館2F「フォレストィーユ精養軒」で、『ドン・カルロ』コラボメニューがお楽しみいただけます。
・10/1(日)～15(日)までの限定メニュー
・完全予約制 (9/1日(金)よりフォレストィーユ精養軒TEL.03-3821-9151にて予約受付開始)。
- *東京文化会館4F音楽資料室でも、マリア・カラスに関する貴重な資料をご覧いただけます。

※各イベントの事前ご予約・お申込みは、8月25日(金)10:00より、二期会チケットセンターで承ります。
※各イベントの詳細、最新情報は、東京二期会公式サイトをご確認ください。

http://www.nikikai.net/enjoy/vol334_04.html

「日本博2.0」について

日本博2.0は、文化庁が主管となって展開する、全国的な文化振興施策です。2025年に開催が計画されている日本国際博覧会(大阪・関西万博)にむけて、またインバウンド需要が高まる中で、国、自治体、企業、文化施設、文化団体が力を結集し、日本の文化芸術を世界に発信していく一大ムーブメントを起こすことを目指しています。

Tokyo Opera Daysでは、東京を「アジアにおけるオペラのハブ都市」と位置づけ、さまざまなイベントを通して、国内のオペラ・ファンの方だけでなく、広く海外からのお客様にもオペラの魅力に触れていただける機会を提供してまいります。

日本博2.0の公式サイトはこちら。



▲日本語版



▲English版

「Tokyo Opera Days」ご取材について

「Tokyo Opera Days」の各コンテンツをご取材いただけます。ご希望の方はPR事務局までご連絡ください。

令和5年度日本博2.0事業（補助型）（独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁）
《二期会創立70周年記念公演》シュトゥットガルト州立歌劇場との提携公演
東京二期会オペラ劇場

ジュゼッペ・ヴェルディ

『ドン・カルロ』新制作

オペラ全5幕(イタリア語5幕版) 日本語字幕付き原語(イタリア語)上演

東京文化会館 大ホール

2023年10月13日(金)18:00、14日(土)14:00、15日(日)14:00 ※開場は開演の60分前（ロビー開場120分前）

指揮：レオナルド・シーニ 演出：ロッセ・デ・ベア

演出補：カルメン・クルーゼ 舞台美術：クリストフ・ヘッツァー

照明：アレックス・ブロック 振付：ラン・アーサー・ブラウン

合唱指揮：佐藤 宏

演出助手：太田麻衣子

舞台監督：村田健輔

公演監督：大野徹也

公演監督補：永井和子

キャスト

配役	10月13日(金)/15日(日)	14日(土)
フィリッポII世	ジョンハオ	妻屋秀和
ドン・カルロ	樋口達哉	城 宏憲
ロドリゴ	小林啓倫	清水勇磨
宗教裁判長	狩野賢一	大塚博章
修道士	畠山 茂	清水宏樹
エリザベッタ	竹多倫子	木下美穂子
エボリ公女	清水華澄	加藤のぞみ
テバルド	中野亜維里	守谷由香
レルマ伯爵&王室の布告者	前川健生	児玉和弘
天よりの声	七澤 結	雨笠佳奈
6人の代議士(全日程)	岸本 大、寺西一真、外崎広弥、宮城島 康、宮下嘉彦、目黒知史	

合唱：二期会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

チケット料金(全席指定・税込)

S22,000円 A18,000円 B14,000円 C10,000円 D6,000円 学生2,000円

※10月13日(金)プレミエ・スペシャル料金=S-B席1,000円引き

チケットのご予約・お問合せ:二期会チケットセンター

TEL.03-3796-1831(月-金=10:00-18:00/土=10:00-15:00/日・祝=休) <http://www.nikikai.net/ticket>

その他プレイガイド

チケットスペース 03-3234-9999 チケットぴあ [https://t.pia.jp/\(Pコード:239-207\)](https://t.pia.jp/(Pコード:239-207))

ローソンチケット [https://l-tike.com\(Lコード:31693\)](https://l-tike.com(Lコード:31693)) イープラス <https://eplus.jp/>

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催：公益財団法人東京二期会

支援：宗次未来基金

協賛：上野トランステック株式会社、みずほ証券株式会社、三井不動産株式会社、株式会社メニコン

協力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

後援：イタリア文化会館、日本ヴェルディ協会

シーズン特別協賛企業：

興和株式会社、ソニーフィナンシャルグループ株式会社、ダイドー株式会社、株式会社三井住友銀行

《全国巡回公演》

■神奈川公演：2023年9月30日(土)13:00 よこすか芸術劇場

■北海道公演：2023年10月7日(土)、8日(日)各14:00 札幌文化芸術劇場 hitaru